

第4回 おいしい水づくり推進懇話会 ＝ 議 事 録 ＝

日時：平成20年7月25日(金)

午後1時30分から午後5時まで

場所：水道局幕張庁舎2階特別会議室

1. 開会

事務局より開会宣言

2. 局長挨拶

水道局では、延長距離が8,500kmある送配水管の更新時期が近づいているため、計画的に更新をしなければならない。さらに、通常の処理より更にきれいな水をつくるため、高度浄水処理を順次全浄水場等に設置をしていくなど、大きな課題を抱えている。

その中、できるだけおいしい水を飲んでいただくことが、大きなサービス向上と考え、2年前「おいしい水づくり」を皆様のご協力を得ながらスタートした。2年目に入り、徐々にその成果も出てきていると思います。例えば、福増浄水場で塩素管理の低減化試験の実施、また、水道局のことを知っていただくための「出前講座」の実施。本年度は、「出前講座」の回数を徐々に増やしたいと考えている。また、福増浄水場の高度処理水をパッケージしたアルミボトル水「ちばの水ポタリちゃん」を一人でも多くの皆様方に知っていただくため、安く市販することなども考えている。

ご愛飲いただいている県民の皆様にも、サービスをお返ししていくことができると考えていますのでよろしくご指導をお願いいたします。

3. 委員の紹介

事務局より、委員名簿の順に紹介した。

4. 当局職員の紹介

事務局より、幹部職員及び事務局担当職員を紹介した。

5. 座長挨拶

暑い中、今年の梅雨は雨が少なくダムの水量不足を心配していたら、地震が多発し、被災地の水不足と心配事が続いています。先日、事務局の方と打合せをしたときに、ポタリちゃんのアルミボトル水が災害援助のために海外（中国）出張したということを知り、いろいろところで使われ、役に立っているなと思いました。お水というものに、すごく関心を持って大事にしなければいけないという気持ちと、身近に安全なお水がいつもそばにあるということに、感謝しなくてはならないと思っています。これからも、水に関心を持ち、さらにおいしい水というものについて皆さんといろいろと考えていきたいと思っています。

6. 配布資料説明

7. 議題

「おいしい水づくり計画」に基づく主な施策の取り組みについては、配布資料により概要を説明した。

各議題の概要及び質疑・主な意見等は以下のとおり。

①「よりおいしい水をつくる取組みについて」（高度浄水処理実験・産学官共同研究）

(資料-1) 担当：浄水課水質管理室

【利根川系高度浄水処理実験】

- 高度浄水処理の目的
- 実験プラント処理フロー
- 利根川系高度処理実験プラント
- プラントの処理効果
- 今後の予定

【産学官共同研究：印旛沼原水の凝集改善】

- 背景と目的
- 産学官共同研究とは
- イオン交換樹脂による凝集改善
- 実験プラント (M I E X)
- M I E X 処理の効果と特徴
- バネを用いた特殊フィルターによる凝集改善
- 実験プラント (バネろ過)
- 今後の研究

(委員)

- ・珪藻土はバネにどうやってつけるのですか？
- ・バネは実用化されているのですか？
- ・このバネでなければいけないのか？

(事務局)

- ・珪藻土を入れた水を吸引すると、珪藻土だけがバネにコーティングされるので、その状態で原水をろ過します。
- ・現在は、スーパー銭湯の風呂屋などで使われています。
- ・このバネは、隙間が均一・一定の特殊なもので、このバネ自体に特許があります。

②「塩素多点注入方式について」

(資料-2) 担当：計画課おいしい水づくり推進室

- 塩素消費の要因
- 配水施設・給水装置における塩素消費の概要
- 配水池での一括・一律塩素注入方式
- 塩素多点注入方式
- 平成19年度実施状況
- 平成20年度実施計画

(委員)

- ・管理上の安全対策とは、具体的にはどのようなことか？

(事務局)

- ・多点注入方式では直接水道管に塩素を注入するので、その監視体制や注入できなくなった場合のバックアップ体制（配水池での残留塩素制御）などを構築し、慎重に進めていきます。

③「配水区域細分化後の残留塩素低減化について」

(資料-3) 担当：計画課おいしい水づくり推進室

- 配水区域の細分化について
- 福増浄水場系における残留塩素低減化
- 福増浄水場系における試験結果
- 平成20年度の実施区域
- 実施方法
- 課題

(委員)

- ・福増浄水場の出口での0.6mg/Lということですか、家庭のところではいくつですか？
- ・水温の低い12月から3月に実施してその結果が出ているということですが、水温が高いときは、これから検討されるのですか？
- ・残留塩素濃度の最低基準値が0.1mg/Lから0.05mg/Lに見直されるとい話しを聞くが、見直された場合の対応は？

(事務局)

- ・福増浄水場の出口での0.6mg/Lということです。貯水槽前では、槽内で最大0.3mg/L消費されることから最小で0.4mg/Lとしています。
- ・今年度も昨年同様、水温の低い時期に実施し、その結果からのシミュレーションに

より水温の高い時期の残留塩素目標値を低減、残留塩素の測定をして確認しています。

- ・現在の最低0.1mg/L以上堅持していくと考えていますが、現に見直しがあった場合、水道協会等と連携し、皆様のご意見をいただきながら検討していきます。

④「取組みのPR、水道出前講座等について」

(資料-4) 担当：計画課おいしい水づくり推進室

- おいしい水づくりの取組みを積極的にアピール
- 水道水の安全性やおいしさを体験していただく機会の提供
- 水道出前講座（平成20年度予定）
- 平成20年度のPR計画
- 視聴覚資料（水道局ラジオCM：bayfm、ニュース番組：NHK浄水場見学会）

(委員)

- ・PR用アルミボトル水について、今年の予算は大丈夫なのか？
- ・来年度にアルミボトル水を市販する可能性は？

(事務局)

- ・アルミボトル水は備蓄用に製造しているため、おいしい水のPR用としての予算は確保していません。しかし、アルミボトル水の人気が結構高く、今年度も様々なイベントで配布するなど積極的にPR用に利用しております。そのため、アルミボトル水を管理する危機管理部門で、今年度中に追加製作することとしています。
- ・アルミボトル水の来年度の市販は、現時点では、決まっていません。

⑤「貯水槽水道の巡回サービスについて」

(資料-5) 担当：給水課給水装置室

- 巡回サービス実施状況
- 貯水槽容量別管理状況
- 貯水槽種類別残留塩素濃度状況
- 貯水槽の点検状況
- 貯水槽管理状況
- 貯水槽容量別残留塩素濃度状況
- 貯水槽水温別残留塩素濃度状況
- おわりに

(委員)

- ・「貯水槽水道対策ガイドライン」を策定するとの説明がありましたが、策定は来年度ですか？
- ・貯水槽管理に関するパンフレットの配布先は、設置者だけですか？利用者には配布しないのですか？
- ・点検した結果、残留塩素濃度が0.1mg/L未満のところは、直接指導しているのですか？

(事務局)

- ・ガイドラインは、本年度中に策定する予定です。
- ・貯水槽の管理は設置者なので、貯水槽管理に関するパンフレットは、設置者に配布することと考えています。
- ・夏休みの学校での例が1件ありましたが、飲用できない旨指導しました。

⑥「ウォーターメイト状況報告について」

(資料-6) 担当：計画課おいしい水づくり推進室

- ウォーターメイト制度の創設
- ウォーターメイト制度の概要
- 調査結果（平成19年7月～平成20年6月、報告件数：2,761件）
 - ・水温：平均18.3℃ 最高32℃ 最低3℃
 - ・残留塩素：平均0.70mg/L 最高1.3mg/L 最低0.1mg/L

- ・色・にごり：ない100%
- ・塩素臭：感じない76% わからない5% 感じる19%
- ・異臭：感じない97% わからない2% 感じる1%
- ・不快な味：感じない91% わからない4% 感じる5%
- ・総合評価：おいしい59% どちらともいえない20% おいしくない21%

○調査結果（福増浄水場残留塩素低減効果）○意見・感想

（委員）

- ・ウォーターメイトの人数は、当初70名と説明がありましたが、変更されたのですか？

（事務局）

- ・全62配水区域の内、ちば野菊の里浄水場系統の4区域は各3名、その他58区域に各1名の計70名を当初予定していましたが、成田空港及び習志野市茜浜芝園地区には、居住して県水を利用する方がいないため選任しないこととし、その結果68名となりました。

⑦「おいしい水に関する水質の状況について」

（資料-7）担当：水質センター

○おいしい水づくり計画の水質目標とH19年度達成状況（速報値）

		H27年度 目標値	H22年度 中期目標値	H19年度 達成状況 (速報値)	
におい 及び 味	残留塩素	0.4mg/L以下 0.1mg/L以上	0.6mg/L以下 0.1mg/L以上	0.8mg/L	
	臭気強度(TON)	1	100%	100%	
	かび 臭	2-MIB	定量下限値 (1ng/L)以下	95%	92%
		ジオキソシン		100%	100%
	有機物(TOC)	1.0mg/L以下	95%	92%	
外観	色度	1度以下	100%	100%	
	濁度	0.1度以下	100%	100%	
安心	総トリハロメタン	0.03mg/L以下	95%	70%	

○トリクロラミンに関する調査 ○トリクロラミンの閾値について

○浄水場における低減方法の検討 ○調査事例報告 ○今後の予定

⑧その他

（資料-8）浦安市立日の出幼稚園での対談記事（水道産業新聞）

- ・浦安市立日の出幼稚園では、「水道水は安全です。幼稚園でも検査をしています。安心して幼稚園の水道水をお使いください。」とのお手紙を保護者の方々に送られています。このことがきっかけで、先日、浦安市立日の出幼稚園石井園長先生と東京都水道局の東岡局長及び千葉県水道局の3者で対談を行いました。石井先生からは、幼児教育の現場の事例も踏まえて、蛇口から出てくるフレッシュな水道水を飲むことの大切さをお話しいただき、東京都と千葉県水道局からは、安

全でおいしい水づくりに向けた取り組みを紹介いたしました。
教育の現場から、都・県を超えて、おいしい水づくりにエールをいただいたもので、
その新聞記事を懇話会において紹介したものです。

8. 懇談

主な質疑・意見等は以下のとおり。

1) 日の出幼稚園関係

(委員)

- ・日の出幼稚園で、蛇口から水道水を飲むことをすすめているとの話を聞いたが、幼稚園とか学校の水は、生温くておいしくないと思うのですが？

(委員)

- ・一人の子供が水道水を飲むと、他の子供が一斉に飲み始めるので、飲む行動をとることが大切だと思う。

(委員)

- ・浄水器を通した水などは残留塩素がないので、幼稚園が水道水を進めているのは、おいしいということではなく安全性ということですよ。

(事務局)

- ・日の出幼稚園では、衛生上の観点から水道水を飲むことを勧めています。

(委員)

- ・今の水筒は、直接口につけて飲むものが多いので、飲みやすいけど何回か飲むと衛生的には問題がある。

2) 冷やした水道水関係

(委員)

- ・中学校にウォータークーラーが設置されているが、水道水を冷やしただけだが、並んで飲んでいる。

(委員)

- ・マリスタジアムや公立病院、図書館などでウォータークーラーを設置し、「水道水を冷やすとこんなにおいしい」ということをPRしたらよいのでは。

(委員)

- ・成田空港では、ウォータークーラーを設置しているが、日本人はあまり飲まないが、海外の人達はかなり利用している。

(委員)

- ・ディズニーランド内のウォータークーラーは、沢山の方に利用されている。

3) キャッチフレーズ関係

(委員)

- ・キャッチフレーズの公募を考えてるとの話でしたが、現在のキャッチフレーズを変えるのですか？

(事務局)

- ・お客様にキャッチフレーズを考えていただくことで、おいしい水づくりのPR効果が期待できるものと考えられるので、改めて公募することを考えています。

(委員)

- ・今のキャッチコピーでいいのですが、変わるのも水道水のことを考えるチャンスを与えられるきっかけにもなるので良いとは思いますが、これまでの「おいしくなりますちばの水」が、全くなくなるのですか？

(事務局)

- ・今後、検討します。

(委員)

- ・今のキャッチフレーズは結構良いものだと思うので、残して欲しいと思う。

4) その他PR全般

(委員)

- ・「ポタリちゃんの大冒険」は、一般の人にも非常にわかりやすいので、学校などでPR用にどんどん活用してください

(委員)

- ・区役所に厚生労働省の水道関係の冊子が置いてあった。県水道局のPR用冊子も置いたらどうか。

(委員)

- ・PRは、絶え間なく継続することが大切だと思う。

5) 水質関係

(委員)

- ・トリクロロミンについては、まだ、具体的な目標設定ができないのですか。

(事務局)

- ・カルキ臭を感じるトリクロロミンの濃度(閾値)調査や浄水処理方法別の濃度測定及び低減方法などの調査・検討を行っています。今後、給水栓の濃度調査やカルキ臭との相関についての調査などを行い、早期に目標値を設定したいと考えています。

(委員)

- ・トリクロロミンと臭気との相関について、できるだけ早くつかめればよいと思う。

(委員)

- ・貯水槽の管理指導は、保健所と連携すれば効果が上がるのでは。

6) その他

(委員)

- ・来年4月のウォーターメイト募集のときに、福増浄水場系統を増員すれば、福増浄水場の低減化効果がわかるのでは？

(事務局)

- ・検討します・

(委員)

- ・水道料金の収納を、東京都水道局や横浜市水道局で導入しているカード利用は考えていますか？

(事務局)

- ・導入に向けて検討中です。

9. その他

(事務局)

次回懇話会は、来年2月を予定し、メール等により都合を確認の上、日程調整をさせていただきます。

(了)